

【情報公開文書】

1. はじめに

京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学 教授 上野英樹を研究責任者とし、がんに対抗するがん免疫機構を研究することにより、がん免疫の新たな治療につながるような免疫現象の解明を目指し研究を行っています。本研究は京都大学医の倫理委員会にて審査され、京都大学大学院医学研究科長および京都大学医学部附属病院長に承認されたものです。

2. 研究課題名

がん免疫の分子機構解明

3. 研究の目的

本研究では、がんに対抗するがん免疫を解明し、がんの新たな免疫療法へとつながる知見を得ることを目的としています。

4. 研究期間

2030 年 3 月 31 日までの研究が承認されています。将来的に研究の延長を申請することを予定しています。

5. 利用または提供する試料・情報の項目

本研究にて新しく募集する検体やその情報以外に、これまで既に得られている下記の試料や情報を用いて研究を行います。

（試料）研究計画「病理組織材料の診療目的外使用」（第 603 号）、「生体試料の保管と将来の研究利用についての説明文書」（1056 号、R0097 号）、「多様な臨床情報を考慮した婦人科悪性腫瘍患者のオミックス解析（全ゲノム・全トランスクリプトーム・プロテオーム・メタボローム解析）による個別化治療の探索」（第 G0531 号）、「アレルギー病態の分子機構解明」（第 G1212 号）にて採取された生体試料。

（情報）研究に使用する生体試料に関する性別、疾患名、年齢、診療情報

2012 年 3 月から 2030 年 3 月の間に、京都大学医学部附属病院において婦人科腫瘍またはその疑いにて採血、病理検査、手術を受けた方、京都大学医学部附属病院にて臍帯血を提供された方、ボランティアを申し出て京都大学免疫細胞生物学に血液を提供された方。

6. 試料・情報の利用目的・利用方法

生体試料におけるがん免疫に関連する遺伝子の発現を免疫染色や RNA 定量、フローサイトメトリーにて解析する。がん細胞と周囲の細胞の遺伝子配列を比較しがん細胞での遺伝子変異を解析する。(対照者等の DNA 配列の解析は行いません。) 共同研究機関へ試料を提供する場合は研究対象者の個人情報情報を削除し匿名化された状態で提供する。また情報は提供しない。

7. 主な共同研究機関

なし

8. 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名

京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学 教授 上野英樹

9. 研究資金・利益相反

本研究は、公的研究費である運営費交付金により実施します。利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

10. 連絡先

本研究に関する研究に関する資料の閲覧（個人情報ならびに知的財産の保護等に支障がない範囲になります）を希望される方、研究への利用の中止や外部への提供の停止またはその他の相談を希望される研究対象者の方は、下記連絡先までご連絡ください。

京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学・教授 上野英樹

電話 075-753-4659

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

電話 075-751-4748、E-mail ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp